

現職外交官が「現場」語る

愛知学院大、外務省と「外交講座」



講師を務めた田中氏

【尾東】愛知学院大学（本部日進市、引田弘道学長）は2日、外務省と共同で、名古屋市北区の名城公園キヤンパスで法学部学生らを対象に「外交講座」を開いた。現職外交官が現場の出来事や

仕事内容などを解説し、学生は外交への理解と見識を深めた。

講師は同省アジア大洋州

局北東アジア第一課課長補

佐の田中智大氏が務め、

「日韓関係」をテーマに講

義した。田中氏は、日韓が安全保障面などで重要な隣国である点を強調した上で、旧朝鮮半島出身労働者問題、慰安婦問題、竹島問題で両国関係が非常に厳しい状況に陥っていることや日本側の対応などを分かり

やすく解説した。

講座には約160人が出席。学生からは外交問題に関する質問が数多くあったほか、「他国と比べて、日本の若者は外国への興味が薄いと感じるか」など、率直な意見を求める声もあった。